

## 豚の肥育後期(70~110kg)における玄米添加給与の影響

### 【1 成果概要】

市販配合飼料に玄米を40%まで混合給与しても、飼料摂取量はほぼ同じで、DG(1日平均増体重)飼料要求率等の発育成績および背脂肪厚等の枝肉成績ともに市販配合飼料給与の場合と同等な成績が得られます。(表2)

玄米混合割合を高めると、ロースの粗脂肪含量が増え、脂肪の色は白くなり、背脂肪におけるオレイン酸の割合が増え、リノール酸の割合が減る傾向にあり肉質の改善が期待できます。(図1、2、3)



表1 試験飼料成分

(%)

試験飼料	水分	CP	粗脂肪	NFE	粗繊維	粗灰分	TDN	Ca	P
市販配合飼料	12.5	14.7	3.8	62.2	2.8	4.0	77.0	0.6	0.5
玄米20%混合	12.3	13.2	3.5	65.1	2.4	3.5	78.6	0.6	0.4
玄米40%混合	12.0	11.6	3.3	67.8	2.0	3.0	80.0	0.6	0.4
玄米	11.3	7.0	2.5	77.0	0.9	1.4	85.2	0.1	0.3

玄米20%混合、40%混合にそれぞれ炭酸カルシウム0.1%、0.4%を添加

表2 発育成績及び枝肉背脂肪厚

試験区	肥育日数(日)	出荷日齢(日)	DG(g/日)	飼料摂取(kg)	飼料要求率	背脂肪(セ)(cm)
市販配合飼料	38	144	1088	130(0)	3.18	2.0
玄米20%混合	42	151	1006	141(28)	3.39	2.1
玄米40%混合	38	147	1073	127(51)	3.18	2.2

飼料摂取量の( )は飼料中の玄米摂取量

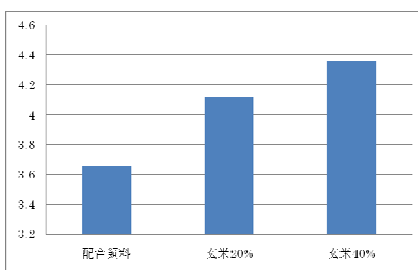


図1 ロース肉の粗脂肪含量

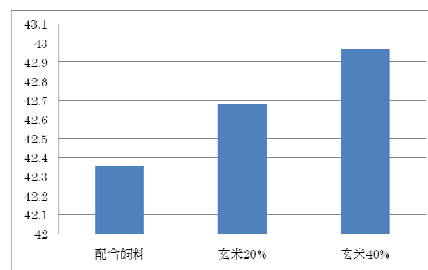


図2 オレイン酸割合

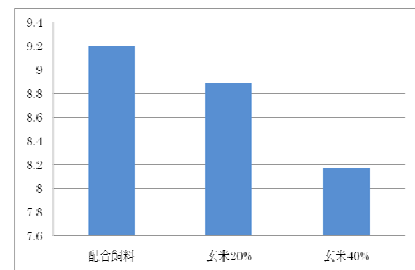


図3 リノール酸割合

### 【2 留意事項】

- 1 使用した玄米は、うるち、もち等が混合されたもので、飼料粉碎機にて粉碎したものを使用しております。
- 2 玄米はカルシウム含量が低いため、配合飼料と混合する際には炭酸カルシウム等で補って下さい。(玄米20%混合の場合は炭酸カルシウムを原物比0.1%添加、玄米40%混合の場合は0.4%添加)

### 【3 効果】

肥育豚への玄米給与にあたっての参考となります。

### 【4 適応対象】

県内の養豚指導者等